

「郵船ロジスティクスの中長期経営VISION(10年)と新中期計画(3年)」

日時：6月16日(火)16:50-18:35(5限)
オンライン講義によるライブ実施

公共政策大学院では、「国際交通政策」の授業において、下記のとおり、郵船ロジスティクス株式会社 代表取締役会長 水島健二氏からお話を伺います。

郵船ロジスティクスではグループとしての新しいVISION、MISSION、VALUEを策定し、2017年に「TRANSFORM2025」と題したプロジェクトをキックオフ、これを事業戦略に落とし込みつつ、文字通り環境の変化の中で生き残りを図るべく変革を図っています。

2020-2022年は、このTRANSFORM2025プロジェクトの真ん中の3年との位置づけで、中期計画を策定していますが、この計画の背後にある、物流の世の中の動き(主として各社の事例、デジタル化の動き、各顧客産業、地域の市場規模予想等)を紹介しながらお話していければと思います。

履修登録学生以外の本学学生の聴講も歓迎しますので、聴講を希望する学生もアクセス願います。
(使用言語：日本語、本学学生以外の一般の方はアクセス出来ません。)

※オンライン授業URLは授業開始前にUTASで確認すること。資料はITC-LMSにおいて本科目を仮登録の上、ITC-LMSから入手すること。授業開始の1時間前までを目途に事前配布する。
※授業の実施形式に変更ある場合にはHPにおいて周知するので注意すること。

一問い合わせ：交通・観光政策研究ユニット ttpu@pp.u-tokyo.ac.jp



郵船ロジスティクス
株式会社
代表取締役会長
水島健二氏